

富士山保全協力金に関する登山者アンケート結果

調査日

第1回	7月15日（日）、7月16日（月・祝）
第2回	7月25日（水）、7月26日（木）
第3回	8月11日（土・祝）、8月12日（日）

調査手法

調査員が下山時にQRコードを印刷したカードを手渡し、登山者はモバイルで回答（有効回答数 1,072 件）

富士山登山者アンケートの中で協力金に関する設問を設けた。

調査結果

（1）今回の登山で、富士山保全協力金を支払っていただけましたか。

1. 支払った（支払う）	862	80.4%
2. 支払わなかった（支払わない）	210	19.6%

（2）支払った（支払う）方は、どのように制度が変われば、より多くの人が支払うようになると思いますか。払わなかった（支払わない）方は、どのように制度が変われば、支払いたいと考えますか。教えてください。（〇はいくつでも）

払った人

1. もっと金額が低ければ支払う	144	16.7%
2. 目的や使い道が納得できるものであり、明確な収支報告がされていれば支払う。	457	53.0%
3. 協力金にトイレチップを含むようにする。	374	43.4%
4. 現金以外（クレジットカード等）でも受け付けてもらえれば支払う。	132	15.3%
5. どのように変わっても支払わない。	25	2.9%
6. その他	200	23.2%

払っていない人

1. もっと金額が低ければ支払う	59	28.1%
2. 目的や使い道が納得できるものであり、明確な収支報告がされていれば支払う。	76	36.2%
3. 協力金にトイレチップを含むようにする。	77	36.7%
4. 現金以外（クレジットカード等）でも受け付けてもらえれば支払う。	8	3.8%
5. どのように変わっても支払わない。	4	1.9%
6. その他	72	34.3%

(3) 富士山保全協力金を具体的にどのようなことに使ってほしいですか。(複数選択可)

1. ごみ処理などの美化清掃活動の強化	629	58.7%
2. 公衆トイレの整備・維持管理	767	71.5%
3. 医師・看護師による救護所の運営	268	25.0%
4. 安全確保のための誘導員の増員	200	18.7%
5. 登山道の点検・維持補修(標識整備含む)	791	73.8%
6. 山小屋の噴火対策などの備品や施設整備	338	31.5%
7. 登山情報・混雑情報等の提供	274	25.6%
8. 富士山の文化の紹介や普及啓発活動の実施	201	18.8%
9. その他	27	2.5%

(4) いくらまでなら、協力金を支払ってまで富士登山をしたいと思えますか。

500円まで	138	12.9%
1,000円まで	569	53.1%
2,000円まで	272	25.4%
5,000円まで	63	5.9%
7,000円まで	1	0.1%
10,000円まで	13	1.2%
10,000円超でもよい	9	0.8%
払いたくない	7	0.7%

(5) 富士山の自然環境の保全、登山者の安全対策のために、多額の税金が投入されていますが、どのような財源負担が理想的だと思いますか。

税金のみ	65	6.1%
税金と登山者の負担	924	86.2%
登山者のみが負担	83	7.7%

(6) 今後、富士山の利用者負担制度はどのようになればよいと思えますか。(○は1つ)

現在の協力金制度のように、制度に賛同する人だけが支払う(制度)	188	17.5%
原則として登山者全員が支払う(制度)	884	82.5%